



主催：公益財団法人交通協力会

後援：文化庁、(公社)土木学会、(一社)日本建築学会、(一社)日本機械学会、東日本旅客鉄道株式会社、(公財)鉄道総合技術研究所、(一社)日本交通協会、(一社)日本鉄道技術協会、(一社)日本鉄道施設協会、(一社)鉄道建築協会、株式会社交通新聞社

「東京駅丸の内駅舎保存復原工事完成記念・連続講演会」のご案内

明治時代の東京市区改正条例に端を発する帝都東京の都市開発と市街縦貫高架鉄道及び中央駐車場の建設計画、東京駅の開業、関東大震災を経て完成した縦貫鉄道、東京駅周辺の市街の発展、戦災復旧と戦後の諸改良、超高層時代を先取りしながら幻に帰した東京駅高層化計画、国の重要文化財指定と赤煉瓦駅舎復原、開業後100年を経て実現する東海道線と東北線の直通運転等々、東京駅を巡る諸問題を取り上げ、連続講演会として、専門の立場から多彩な話題を提供します

日 時 平成24年10月16日(火) 10時～17時

場 所 有楽町朝日ホール：有楽町マリオン12F TEL03-3284-0131 (JR有楽町駅、東京メトロ銀座駅・有楽町駅)

お申込み 入場無料、はがきまたはFAXによる事前申込、定員になり次第締め切らせていただきます。
お申込みには、全日・午前・午後をご明記下さい。

▶ 特別講演

10:05～10:50 藤森 照信 氏 (工学院大学教授・東京大学名誉教授) 「首都計画と東京駅の百年」

▶ 講演 (講演順)

11:10～11:35 小野田 滋 氏 (鉄道総合技術研究所情報管理部担当部長) 「高架鉄道と中央停車場」

11:35～12:00 堀 勇良 氏 (建築史家・元文化庁主任文化財調査官) 「辰野金吾と同時代の建築家たち」

12:00～12:25 辻 聡 氏 (三菱地所(株)内部監査室長) 「東京駅とビジネス街・丸の内の発展」

13:20～13:45 後藤 治 氏 (工学院大学教授) 「建築史から見た東京駅丸の内駅舎復原の意義」

13:45～14:10 鈴木 尚 氏 (元国鉄本社建築課長・元鉄道建築協会会長) 「超高層時代の先駆けとなった十河構想」

14:10～14:35 北河大次郎 氏 (文化庁文化財調査官) 「文化遺産としての東京の駅、パリの駅」

15:10～15:35 林 康雄 氏 (東日本旅客鉄道(株)常務取締役) 「ついに実現する東北・高崎常磐線と東海道線の直通運転」

15:35～16:00 村尾 公一 氏 (東京都技監) 「都市側から見た東京駅」

16:00～16:45 大内田史郎 氏 (東日本旅客鉄道(株))・田原 幸夫 氏 ((株)ジェイアール東日本建築設計事務所)
「甦った丸の内駅舎：設計と施工の全貌を語る」

聴講ご希望の方は、下記申込書(コピーも可)または官製はがきに必要事項を1人1枚ずつご記入のうえ、
10月5日(金)までに

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル9階 903号 公益財団法人交通協力会 講演会係 宛郵送、
または 03-6269-9809 宛FAXでお申込み下さい。

「東京駅丸の内駅舎保存復原工事完成記念・連続講演会」聴講申込書

お名前		聴講希望の時間帯 (○でお囲み下さい)
ご住所 〒		
電話番号	FAX番号	全 日
所属名(会社・団体)		午前のみ
ご住所 〒		午後のみ
電話番号	FAX番号	